



The Concept of 'Practical Reasoning' in Thomas Aquinas Moral and Political Writings: Some "modern reflections" on Thomas today

2024

11月17日 日

15:00~17:30 (14:30 受付開始)

講演者： Prof. Dr. Matthias Lutz-Bachmann

(フランクフルト・ゲーテ大学教授)

司会：寺田俊郎 (上智大学文学部哲学科教授)

使用言語：英語 ※日本語配布資料、会場通訳あり

主催：上智大学中世思想研究所

共催：上智大学文学部哲学科

会 上智大学
場 2号館309教室

事前申し込み不要、参加無料

お問い合わせ先 imdthght@sophia.ac.jp

Sophia **Open** 11/5 tue - 11/24 sun
Research Weeks **2024**



The Concept of 'Practical Reasoning' in Thomas Aquinas Moral and Political Writings: Some "modern reflections" on Thomas today

邦訳タイトル： トマス・アクイナスの道徳哲学と政治哲学における〈実践的推論〉の概念——トマスをめぐるいくつかの〈現代的考察〉

本講演でルッツ=バツハマン教授は、アリストテレスから現代に至るまで倫理学の主要なテーマであり続けた「実践的推論」を切り口に、13世紀に生きたトマス、アリストテレス哲学を批判的に受容した一人の「哲学者」として体系的に考察します。ここから私たちは、21世紀に生きるわれわれへのトマスのメッセージを目の当たりにするとともに、トマスの思想がカントさらにはハーバースの思想と響き合うことのものであることも実感することとなりましょう。



フランクフルト・ゲーテ大学教授

Prof. Dr. Dr.
Matthias Lutz-Bachmann

ルッツ=バツハマン教授の著作は膨大な数に上ります。そのうち、邦訳のあるものを含め代表的な数点のみ紹介します（編著を含む）。

・ *Von Natur und Herrschaft. "Natura" und "Dominium" in der politischen Theorie des 13. und 14. Jahrhunderts*, Campus Verlag, 2018.

・ *Grundkurs Philosophie. Band 7: Ethik*, Reclam Verlag 2013（邦訳：『倫理学基礎講座』桐原隆弘訳、晃洋書房、2018年）。

・ *Lex und ius. Beiträge zur Begründung des Rechts in der Philosophie des Mittelalters und der Frühen Neuzeit*, frommann-holzboog, 2010.

・ *Perpetual Peace, Essays on Kant's Cosmopolitan Ideal*, MIT Press, 1997（邦訳：『カントと永遠平和—世界市民という理念について』田辺俊明ほか訳、未来社、2006年）。

上智大学文学部哲学科教授

寺田俊郎

近現代の実践哲学、臨床哲学、対話の哲学、Global Ethicsなどを研究しています。特にカントの実践哲学をはじめとする近現代の実践哲学に注力しています。また、「哲学カフェ」などを通じて、市民と共にフィロソフィーレンをし、対話を重視した活動にも積極的に取り組んでいます。



主催：上智大学中世思想研究所

共催：上智大学文学部哲学科